

“明治学院キャンパス変遷”

ジオラマで見る白金キャンパスの変遷

※ジオラマは記念館の歴史資料館でご覧になれます。

1890年頃



(現在の記念館)
神学部教室、図書館
藤村の小説「桜の果の熟する時」に出てくる



1950年頃



1985年頃



1985年頃



2008年頃



国道1号線側から



写真で見るキャンパスの変遷



1863 年秋、
横浜居留地に
【ヘボン塾】開塾



1859 年ヘボン博士
夫妻来日、神奈川区の
成仏寺に居を構える。



現住所
横浜市中区山下
合同庁舎前
近くに山下公園、
マリンタワー、
横浜スタジアム



明治10年創立一致神学校（築地、現在＝聖路加国際大学）

白金 キャンパス



1887 年白金に移転、明治学院開校



← 同じ方向 →
から撮影

チャペル

1975 年頃の写真



1890年頃 インブリー教授の館



1890年頃 神学部教室、
図書館（現在の記念館）



普通学部・寄宿舎・ヘボン館



ライシャワー館

オーガスト・ライシャワー博士が 1905 年から 1930 年まで居住された館。
博士の次男エドウィン・ライシャワー（元駐日米国大使）はここで誕生。大使就任、来日直後、明治学院に来校。
高校新校舎建築の為 1965 年東村山に移築。

白金
キャンパス

1916年 礼拝堂が完成



1936年 袖廊を増築し十字架形になる



1925年 伊深ホール落成



新制高等学校校舎として使用。



国道1号線から見た学院の昔と今



1950年頃
1927年市電が開通、
二本榎明治学院前電停設置



1967年頃
ヘボン館が完成。
都電がまだ運行している

現在



1968年頃 ベルシバ
(レストラン)
生協食堂よりも
少し高額だった。
現在は法科大学院
模擬法廷がある。



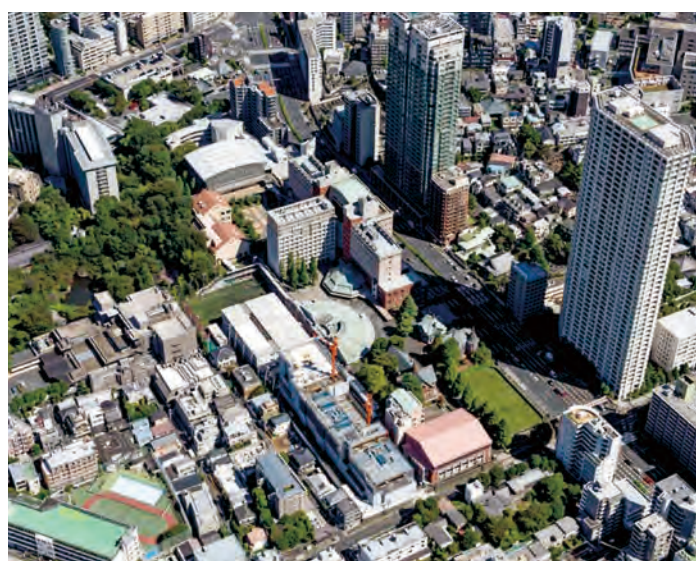
空から見た白金キャンパス



1968年頃
国道1号線沿いに
マンションがまだ
林立していない



1993年3月 新本館1期工事完成当時
(1996年6月本館工事了)



2021年9月撮影。高校校舎建築中。(中央にクレーン)

1957年落成
学生ホール
「グリーンホール」



1968年 白金祭
この広場は現在
「ヴォーリーズ広場」
と呼ばれています



2010年
白金祭での
オープニング
セレモニー

横浜
キャンパス



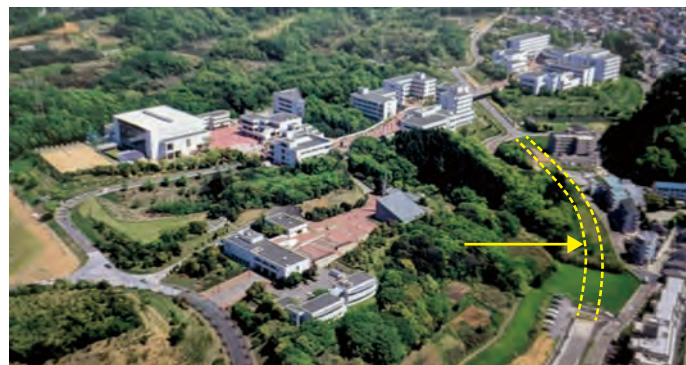
1983年 着工当時



1988年 開校3年目



1990年 開校5年目



2000年頃 都市計画道路が途中まで



現在の横浜キャンパス

ヘボンフィールドの完成まで



1990年頃と2013年頃の違い



- ① ウッドデッキに変更
- ② 電話BOX 撤去
- ③ 灰皿、ごみ箱、ベンチ撤去
- ④ テーブル、椅子を新調

C 館 (生協食堂) から図書館方面を望む



木々の成長が見えます。

モニュメントが撤去され、ここの広場は、今では、イベントの開催、発表に利用されています。

遠望橋



後ろの木々がまだ幼い



都市計画道路の街路灯が見えます。

東村山
キャンパス



1966 年頃
チャペル、中学校は
まだできていない。

この木造の建物は
旧通信兵学校時代の
もの。
2013 年頃の写真では
なくなっている。



2013 年頃

西武線小川駅

テネシー
キャンパス



1989 年 テネシー明治学院高校開校
(2007 年 閉校)

